

# 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成25年 6 月 25 日

大 分 県 知 事 殿

提出者

住所

氏名

大分市舞鶴町1丁目4番35号(大分三井ビル)  
梅林建設株式会社  
代表取締役社長 梅村秀伍

（法人にあっては名称及び代表者の氏名）

電話番号 097-534-4151（内線）300

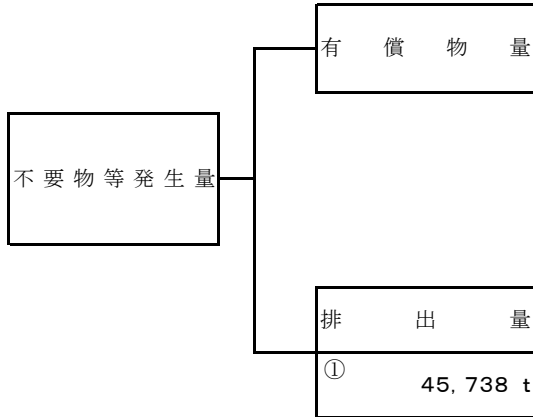
（担当部署）品質環境管理部

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成24年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	梅林建設株式会社		
事業場の所在地	大分市舞鶴町1-4-35（大分三井ビル） tel 534-4151		
事業の種類	(大分類D) 建設業 日本標準産業分類番号 総合工事業/一般土木建築工事業 0611		
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	16,396 t	全処理委託量	16,396 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	16,131 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： \_\_\_\_\_ )



自ら直接再生利用した量  
② 0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③ 0 t

自ら中間処理した後再生利用した量  
⑧ 0 t

項目	実績値
①排出量	45,738 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	45,738 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	45,317 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

自ら中間処理した量  
④ 0 t

④のうち熱回収を行った量  
⑤ 0 t

自ら中間処理した後の残さ量  
⑥ 0 t

自ら中間処理により減量した量  
⑦ 0 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  
⑨ 0 t

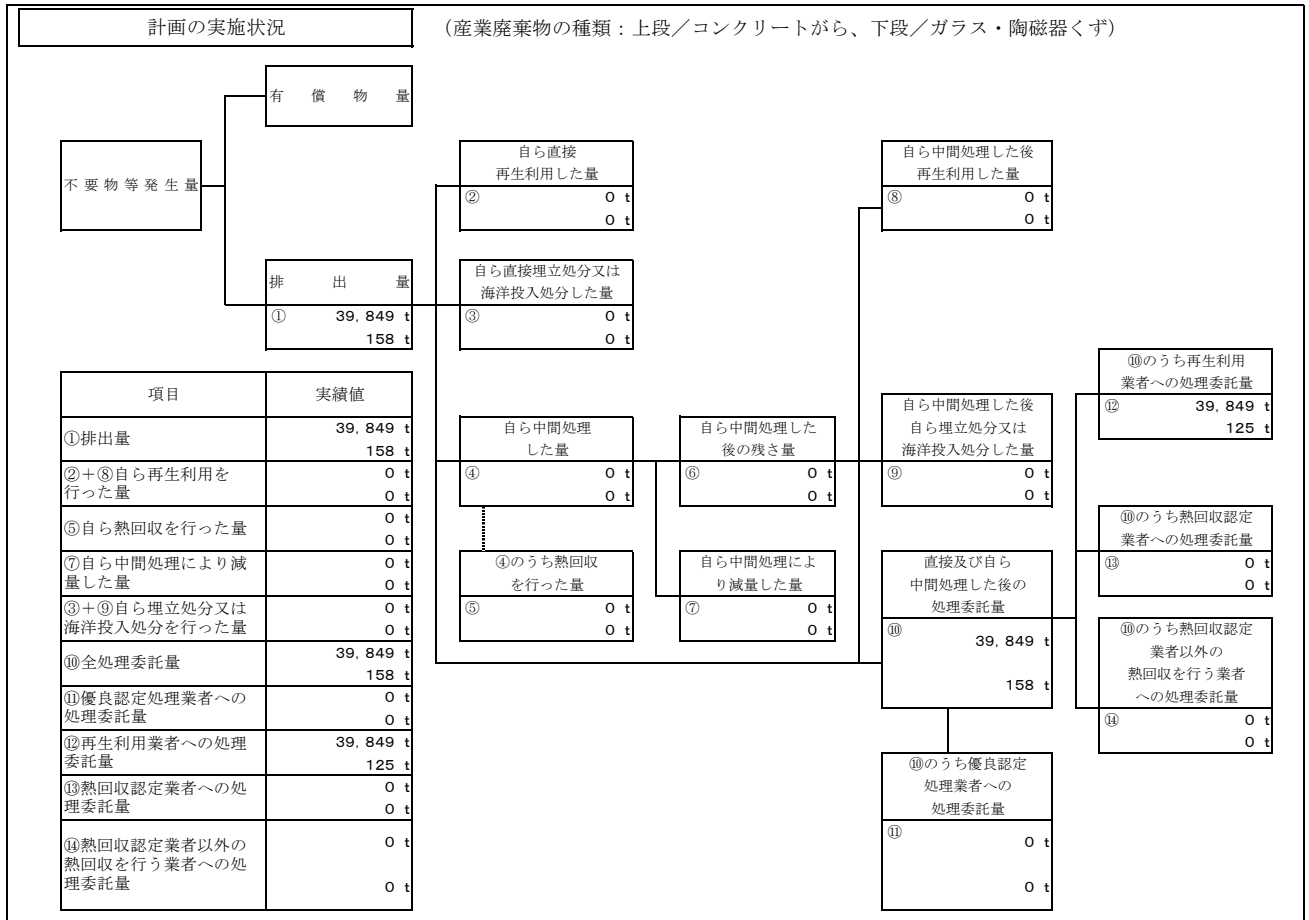
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩ 45,738 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 0 t

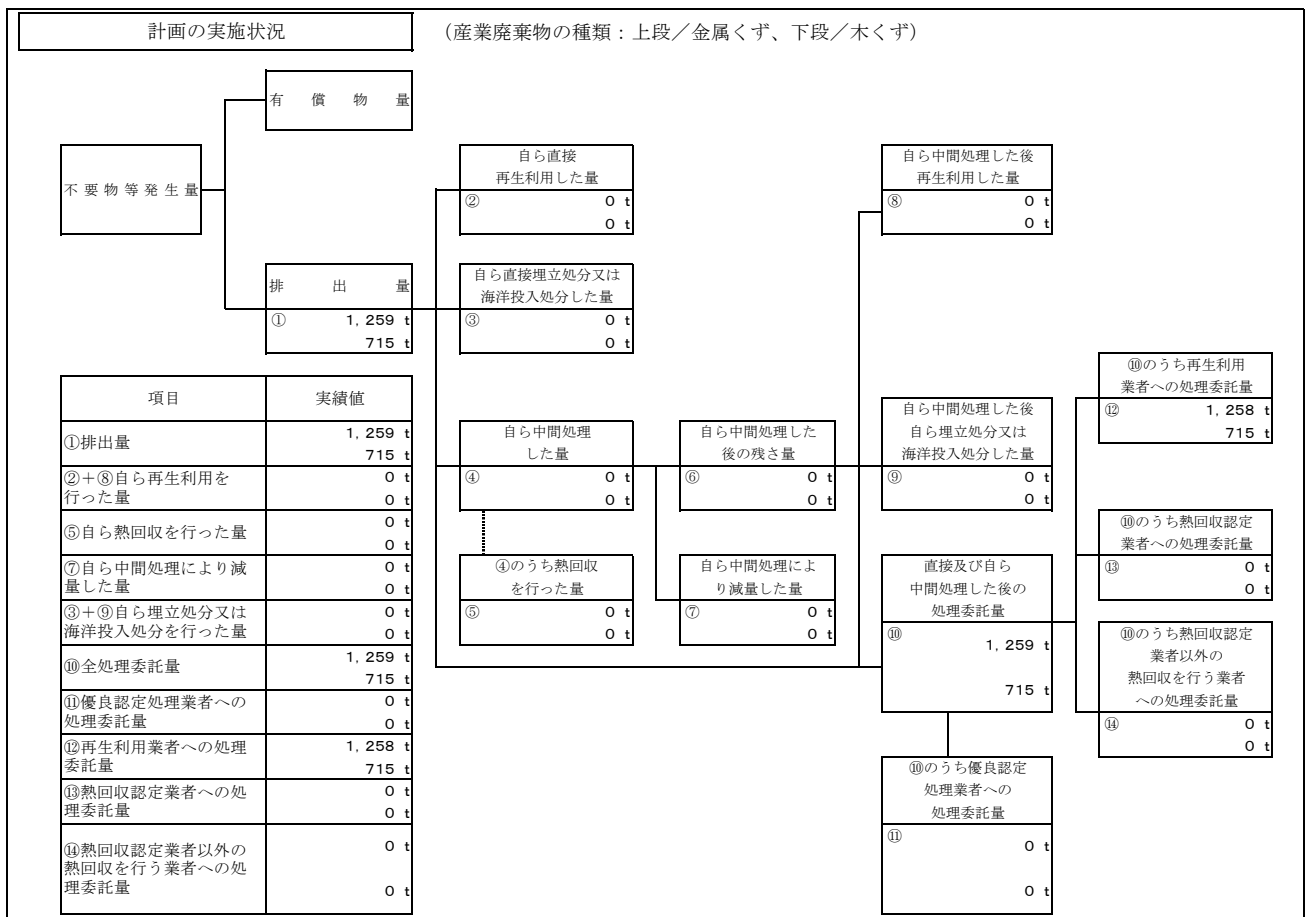
⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 45,317 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬ 0 t

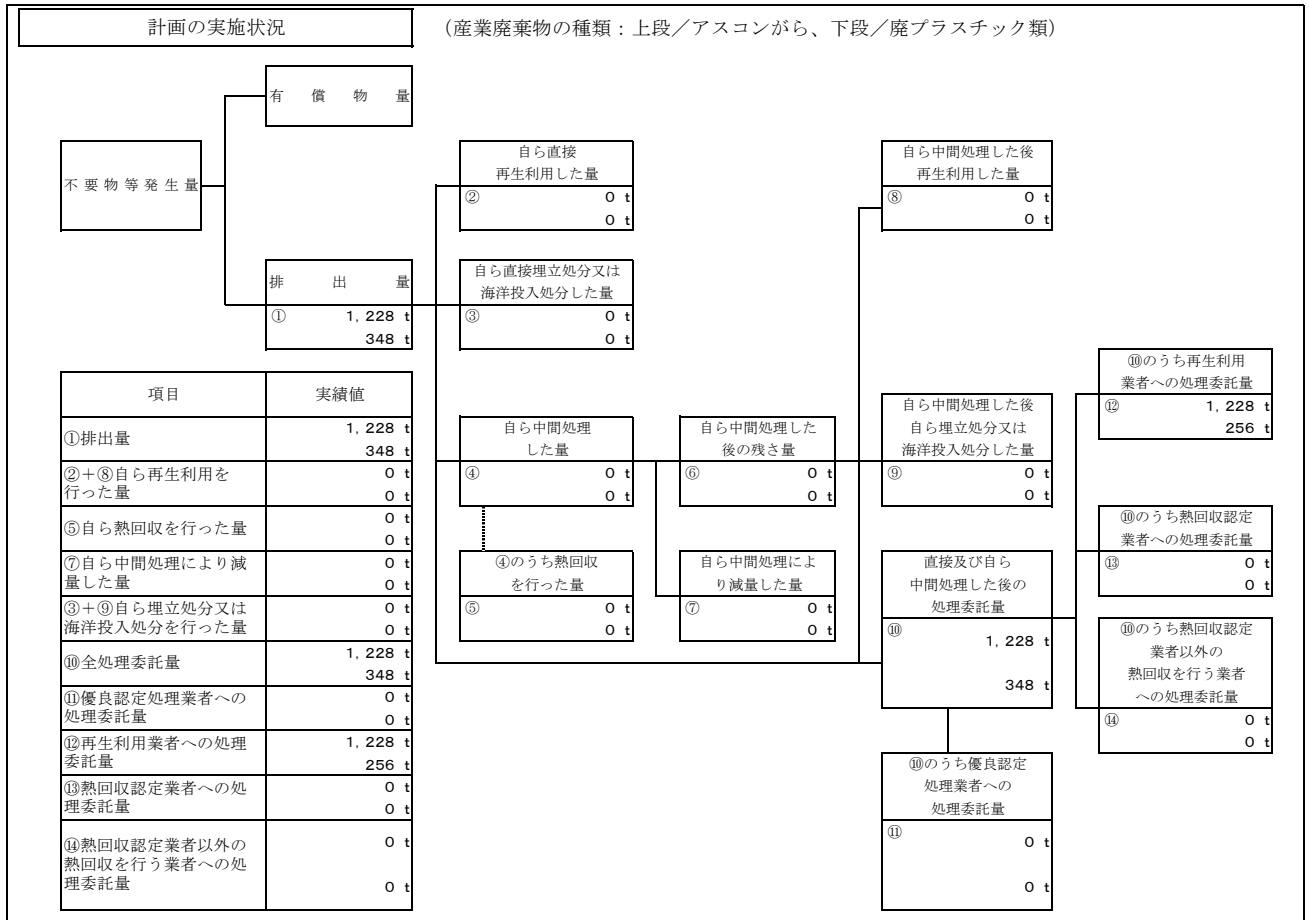
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭ 0 t



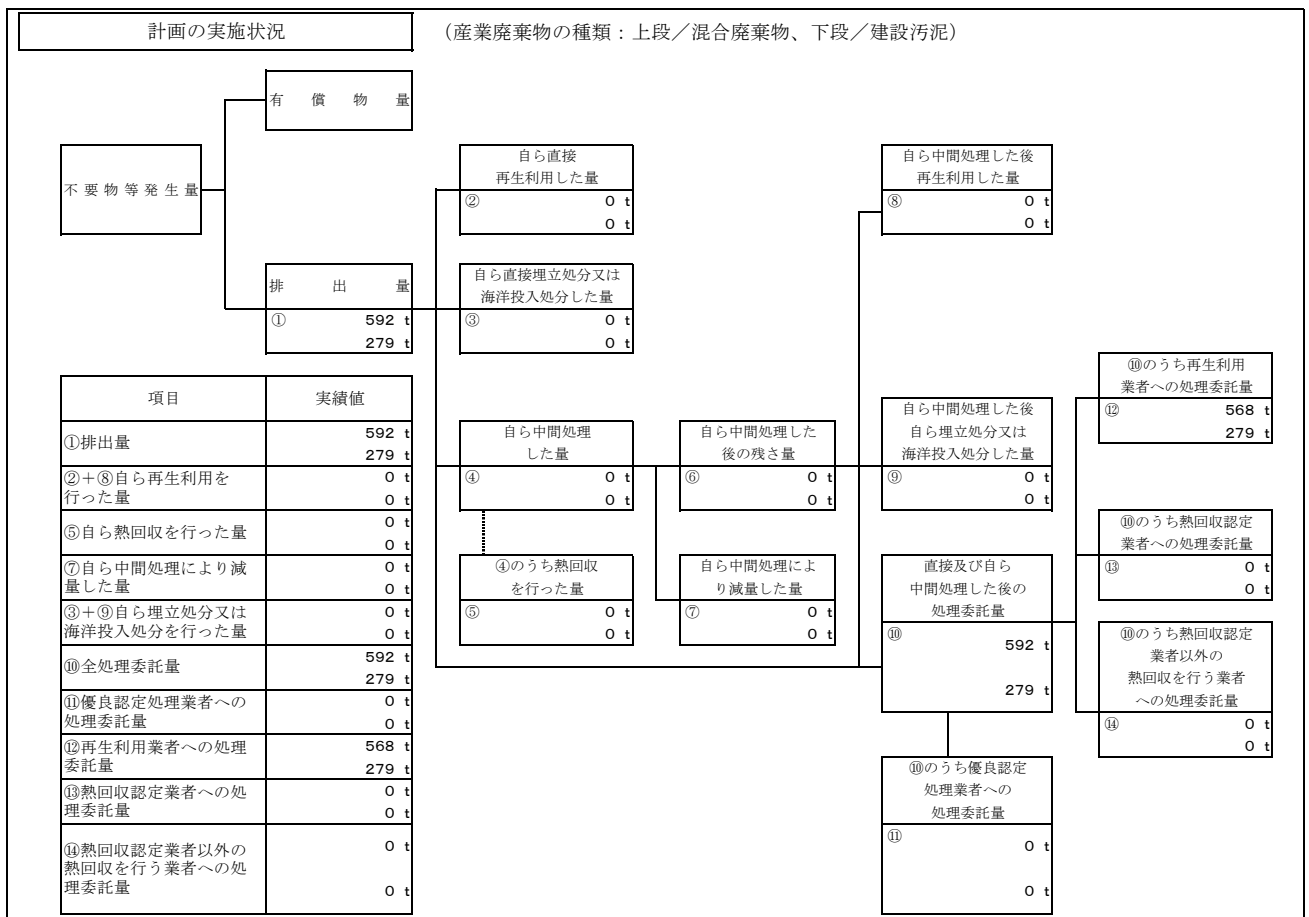
(第2面)



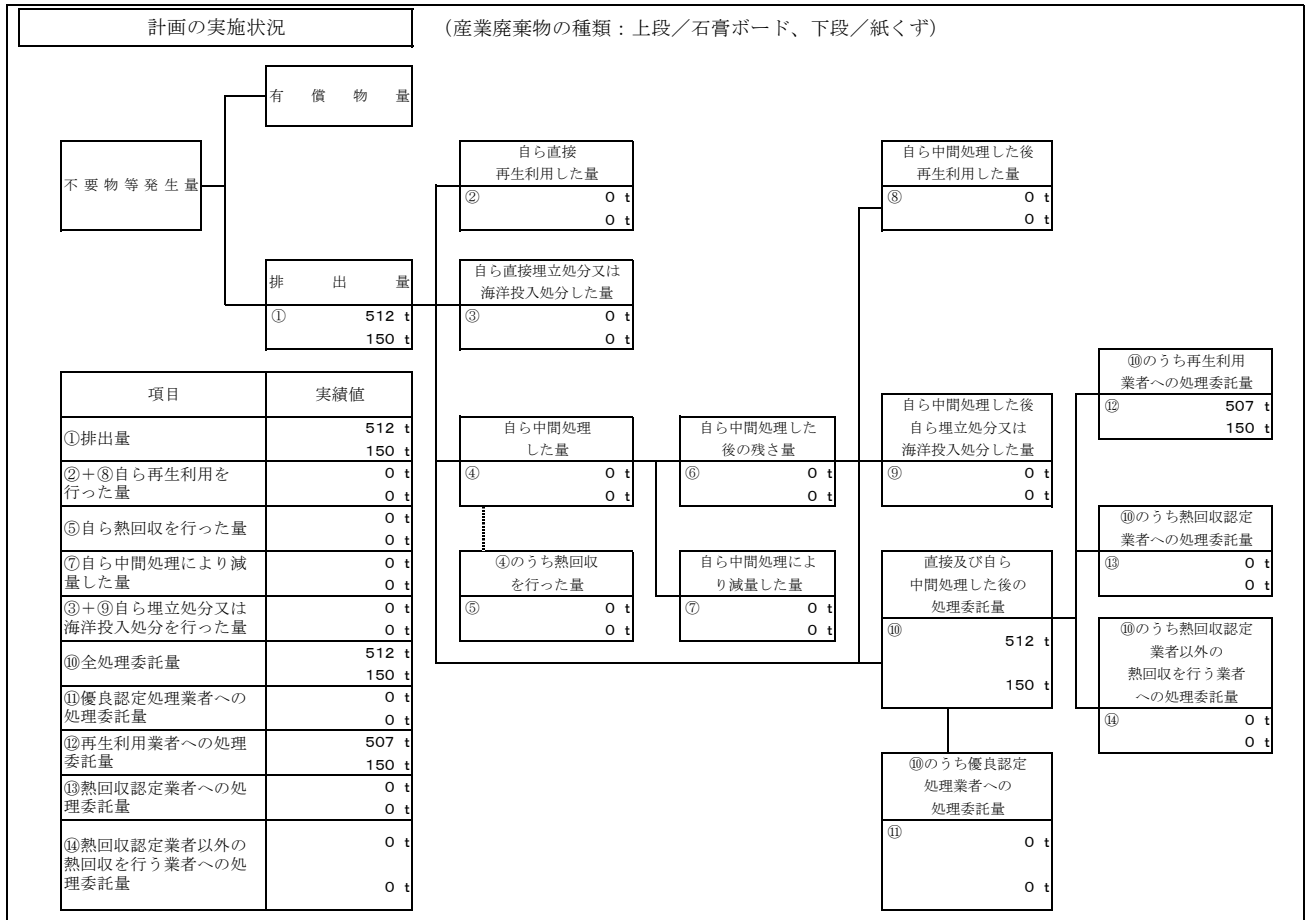
(第2面)



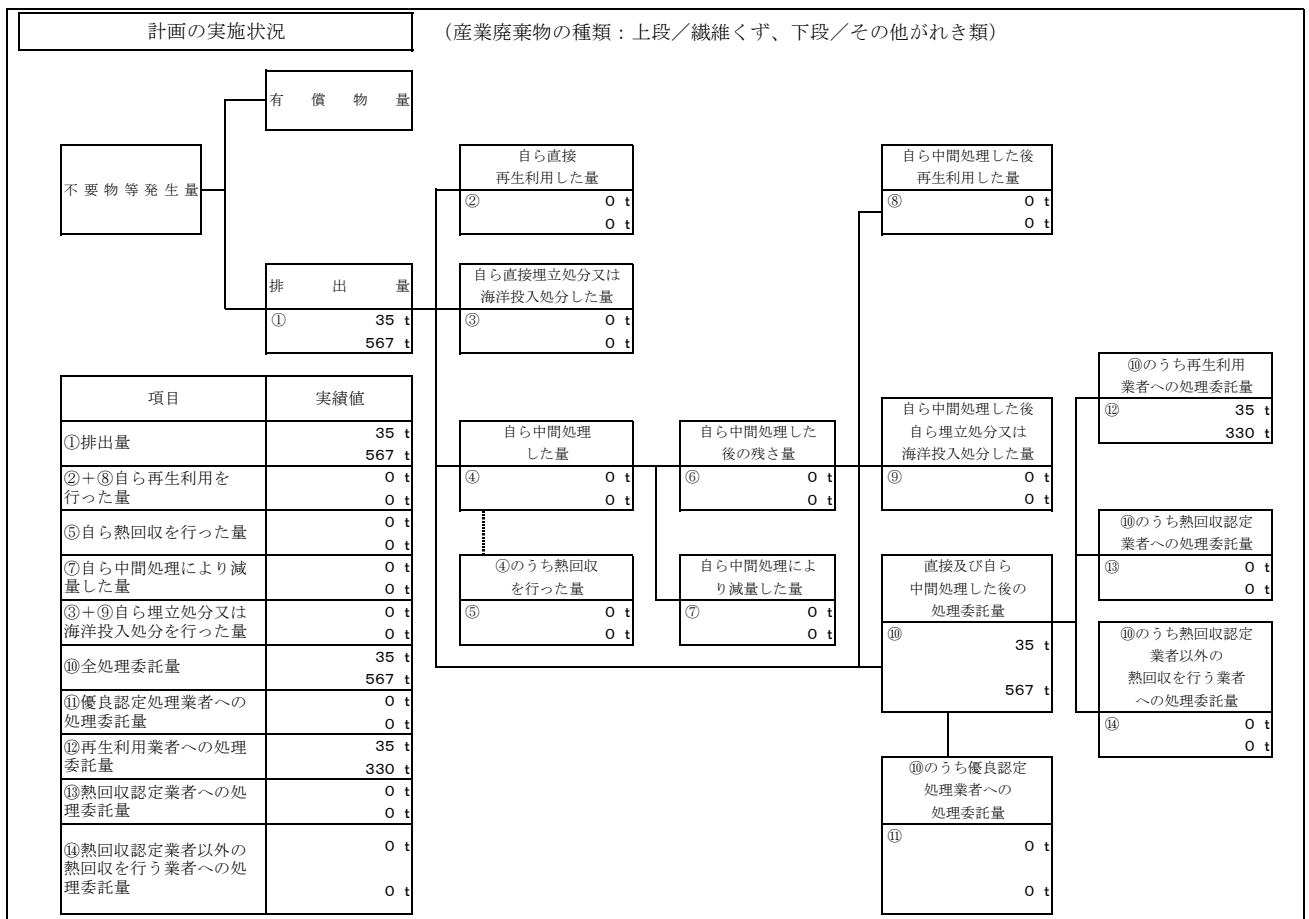
(第2面)



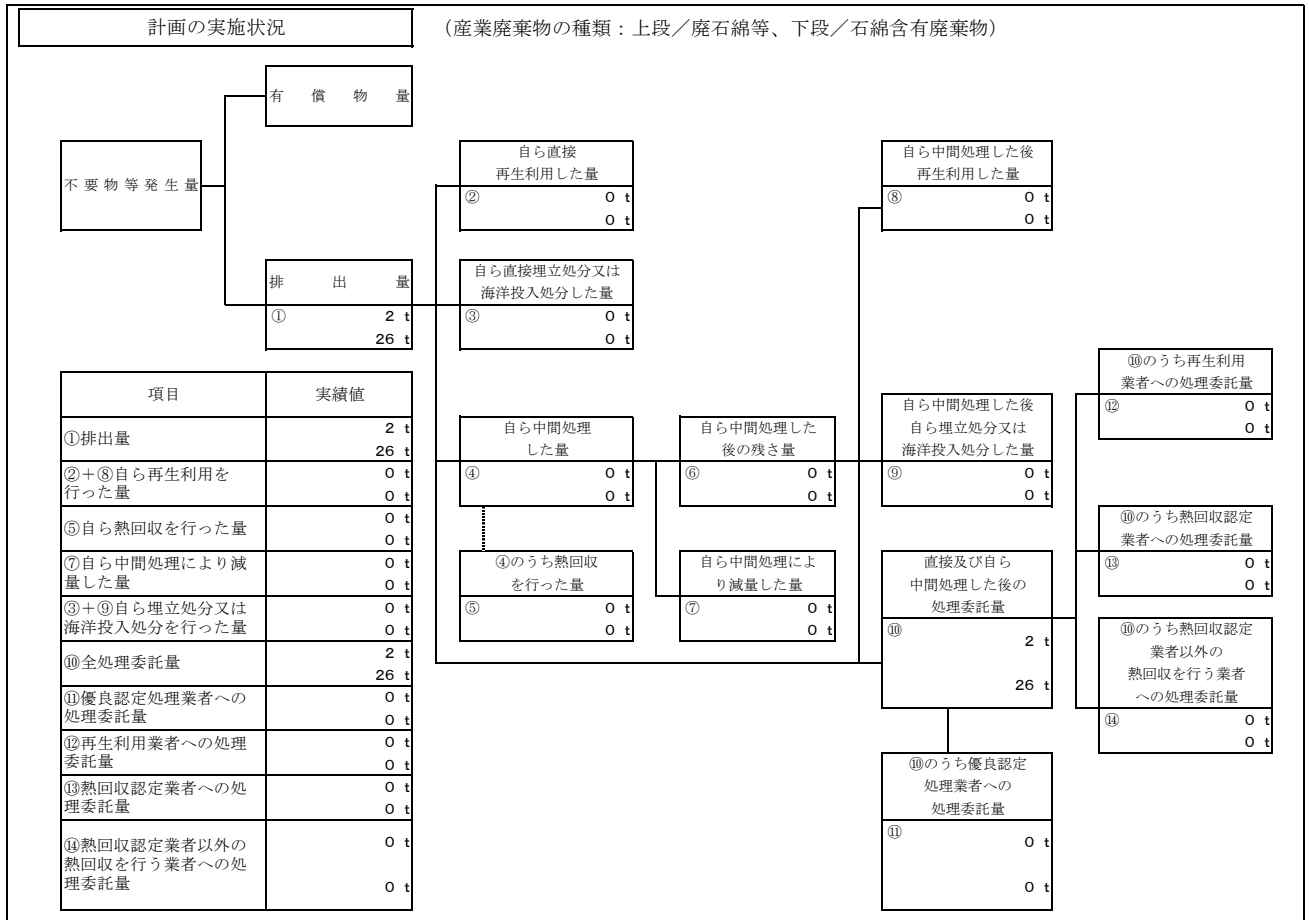
(第2面)



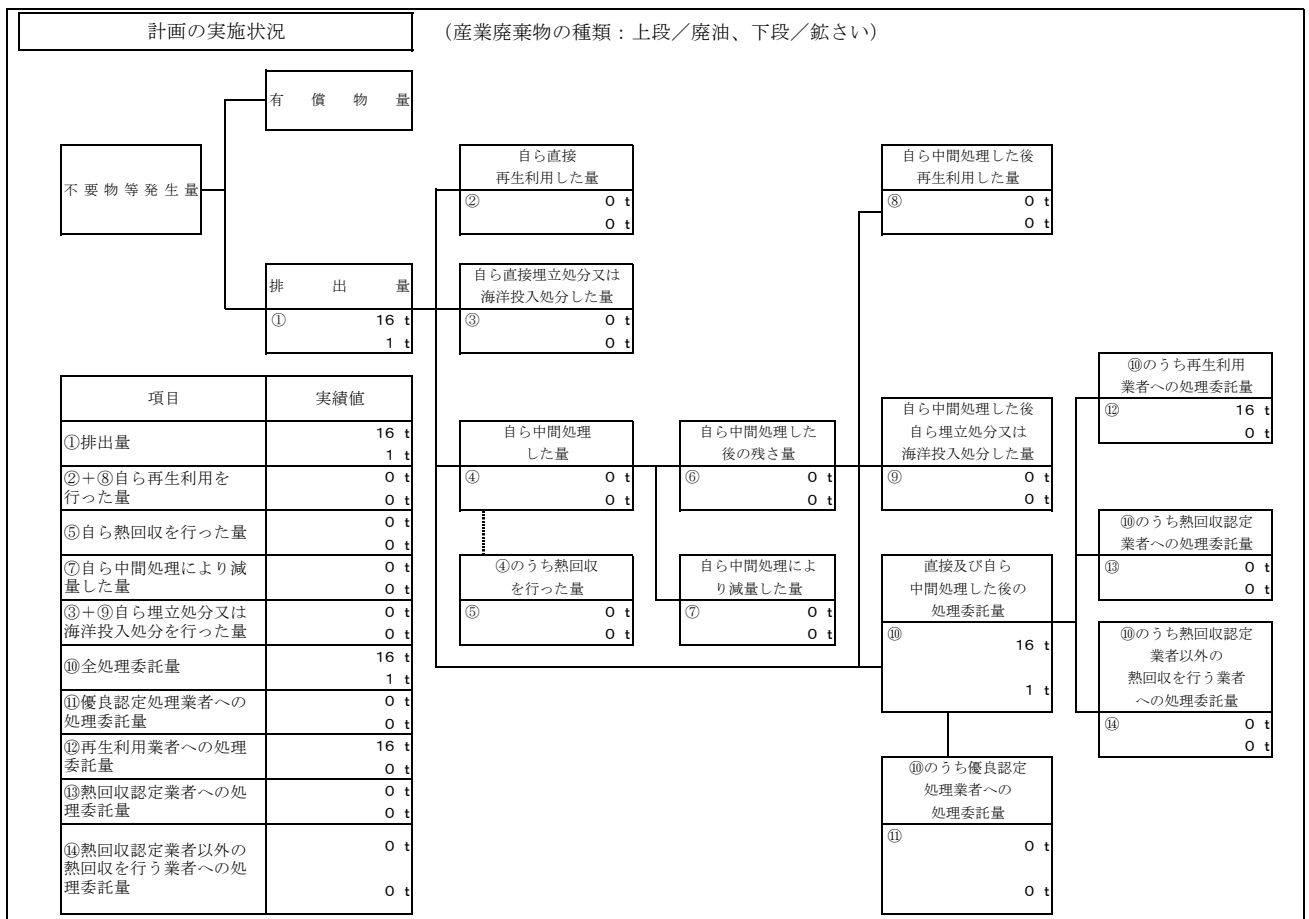
(第2面)



(第2面)



(第2面)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の1第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

表 1

平成 24 年度排出実績(大分市を除く大分県内について)

単位：t/年

廃棄物の種類	実績 [H23 前 年 度 排 出 量]	実績 [H24年度] (上段の数値は24年度の計画値)							
		本年 排 出 量	中 間 処 理 量			直 接		総 減 量	
			処 理 量	中 間 処 理 後		再 生 利 用 量	最 終 処 分 量		
				再 生 利 用 量	最 終 処 分 量				減 量
コンクリートがら	13,888	13,000 39,849	13,000 39,849	13,000 39,849	0 0	13,000 39,849	0 0	0 0	13,000 39,849
ガラス・陶磁器 くず	122	110 158	0 125	0 125	0 0	0 125	0 0	110 33	0 125
金属くず	139	120 1,259	120 1,258	120 1,258	0 0	120 1,258	0 0	0 1	120 1,258
木くず  (チップ化) (縮減化)	598	500 715	500 715	チップ 400 縮減 90 10%灰 10 チップ 715 縮減 0 10%灰 0	0 0	400 90 715 0	0 0	0 0	490 715
アスコンがら	1,103	1,000 1,228	1,000 1,228	1,000 1,228	0 0	1,000 1,228	0 0	0 0	1,000 1,228
廃プラスチック類	239	200 348	200 256	120 153	80 60%再生103	120 153	0 0	0 92	120 153
混合廃棄物	779	700 592	700 568	0 0	700 568	0 0	0 0	0 24	0 0
建設汚泥	19	10 279	10 279	0 279	10 0	0 279	0 0	0 0	0 279
石膏ボード	565	500 512	500 507	0 0	500 507	0 0	0 0	0 5	0 0
紙くず  (チップ化) (縮減化)	110	100 150	100 150	チップ 70 縮減 27 チップ 150 縮減 0 10%灰 0	0 10%灰 3	70 27 150 0	0 0	0 0	97 150
繊維くず	4	2 35	0 35	0 0	0 35	0 0	0 0	2 0	0 0
その他がれき類	222	150 567	0 330	0 0	0 330	0 0	0 0	150 237	0 0
廃石綿等(特管)	0	0 2	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2	0 0
石綿含有廃棄物	4	2 26	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 26	0 0
その他(廃油、銲滓等)	1	2 17	1 16	1 16	0 0	1 16	0 0	1 1	1 16
合 計	17,791 前年比 157.1%増	16,396 45,738 157.1%増	16,131 45,317	14,711 43,773	1,303 1,543	14,828 45,773	0 0	265 421 (縮減率)	14,828 43,773 (95.7%)



表 2 平成 25 年度排出目標(大分市を除く大分県内について)

単位：t/年

廃棄物の種類	実績 [H24 概] 基準 排出量	計画 [H25 年度目標値]							
		発生 排出 量	処 理 量	中間処理量			直 接		総 減 量
				中間処理後			再 生 利 用 量	最 終 処 分 量	
				再 生 利 用 量	最 終 処 分 量	減 量			
コンクリートがら	39,849	20,000	20,000	20,000	0	20,000	0	0	20,000
ガラス・陶磁器 くず	158	100	0	0	0	0	0	100	0
金属くず	1,259	1,000	1,000	1,000	0	1,000	0	0	1,000
木くず(チップ化) (縮減化)	715	500	500	チップ 400 縮減 90	0 10%灰 10	400 90	0 0	0 0	490
アスコンがら	1,228	1,000	1,000	1,000	0	1,000	0	0	1,000
廃プラスチック類	348	250	250	150	100	150	0	0	150
混合廃棄物	592	400	400	0	400	0	0	0	0
建設汚泥	279	100	100	100	0	100	0	0	100
石膏ボード	512	400	400	0	400	0	0	0	0
紙くず(チップ化) (縮減化)	150	100	100	チップ 70 縮減 27	0 10%灰 3	70 27	0 0	0 0	97
繊維くず	35	20	0	0	0	0	0	20	0
その他がれき類	567	300	0	0	0	0	0	300	0
廃石綿等(特管)	2	1	0	0	0	0	0	1	0
石綿含有廃棄物	26	10	0	0	0	0	0	10	0
その他(廃油、鉍滓等)	17	5	3	3	0	3	0	2	3
合 計	45,738	24,186	23,753	22,723	913	22,840	0	433	22,840